

6月定例会 一般質問要旨

2次元コードを読み取ると、議員それぞれの全ての一般質問の様子をご覧いただけます。



水質環境保全に向けた 下水道等事業の推進について



創政クラブ 高田 靖

議員 本市の公共下水道の普及率と接続率、また供用開始に伴う補助金の状況について伺います。

都市政策部長 普及率は令和4年度末49.3%、5年度末50.4%、6年度は9月末で50.9%。接続率は4年度末76.4%、5年度末76%、6年度は9月末で75.6%。補助金は供用開始から1年以内に接続した場合に交付され、令和2年5月に3万円から10万円に引き上げを行いました。

議員 今後の浄化槽設置補助金制度の予算のあり方について、市長の所見を伺います。

市長 水質環境の保全という目標達成のためにも、合併処理浄化槽への転換設置に重点をおき、多くの方が補助を利用できるように取り組んでいきたいと考えています。

議員 公共下水道接続促進策として、例えばその年度限定で接続工事費補助金を大幅に増額する「ランダム補助金制度」の導入を提案いたします

が、所見を伺います。

市長 公共下水道の接続率が一層向上するように、現行の補助金の増額や、補助期間の延長など検討していきたいと考えています。

議員 本市の接続率が他市と比較して低いことについて伺います。

市長 しっかりと効果検証を行い、下水道の接続率を高められるようこれからも取り組んでいきたいと考えています。

■その他の質問
・滞納の現状と今後の徴収体制について



本市の 子ども・子育て支援政策について



太田クラブ 若林 卓実

議員 「教育・保育施設の充実」の施策の概要について伺います。

福祉こども部長 当該施策は教育・保育施設へ通園する児童数について利用率の変化や出生率低下などを考慮して見込み量を算出し、利用定員を計画したもので、利用定員の確保に向け、保育士などの負担軽減や教育・保育施設の充実を図るものです。

議員 太田市保育士修学資金貸付制度の概要と実績について伺います。

福祉こども部長 指定保育士養成施設に入学し、卒業後に市内保育園などに従事する意思のある人を対象に、上限で2年間、月額3万円の無利子貸付を行い、卒業後、市内保育園などで5年間保育士業務に従事した場合、修学資金の返還を全額免除する制度です。実績は、令和4年度11人、5年度13人、6年度7人でした。

議員 当該制度の利用者が前年度と比較して6人も減少しており、多くの学生に利用してもらうためには返還免

除の要件を5年から3年に変更すべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 本制度の目的は保育士の確保と定着であり、5年勤務することで保育キャリアの向上が図れるため、返還免除の要件については5年が必要と考えます。保育士の定着は重要な課題であると認識していますので、現場の声も聞きながら保育支援を行っていきたいと考えています。

■その他の質問

- ・本市の障がい者福祉政策について
- ・本市の自殺対策について
- ・本市の教育行政方針について



市長公約について —『物価高への支援策・お米にも 使えるクーポンの配布』について—



公明党 高橋 えみ

議員 お米を含む物価高騰の動向の把握と分析について伺います。

企画部長 実質GDPの成長率や実質賃金のマイナスを鑑みると、物価高騰の状況は国内経済に大きな影響を与えていると認識しており、引き続き動向を注視したいと考えています。

議員 価格上昇が市民生活に与える影響をどう捉えているか伺います。

企画部長 お米をはじめとした価格の異常な高騰により、市民の生活は非常に大きな影響を受けているということは間違いなく感じています。

議員 市長の公約である物価高への支援策として、お米にも使えるクーポンの配布がありますが対象者や方法、時期について、市長の所見を伺います。

市長 さまざまな商品が価格高騰している中で、多くの市民が影響を受けています。お米に限らず食料品全般の購入補助が必要であり、全市民を対象者としてと考えています。配布時期や制度内容については、実施に向

け、関係部局と検討しています。

議員 手続きの煩雑さが障壁となり、結果的に支援対象から漏れてしまう人がいる可能性もあるため、お米クーポンの配布は全ての市民に届くよう最大限の配慮を講じた手段を検討すべきと考えますが、所見を伺います。

市長 さまざまな手段をしっかりと検討しながら、早めの実施に向けて関係部局と調整しています。

■その他の質問
・『研究とイノベーションが生まれるまち・太田市』の実現に向けた行政の取り組みと今後について



陳情案件の早期対応について



市民ファーストの会 大川 敬道

議員 道路整備課で受けた陳情の未着件数と古い陳情について伺います。

都市政策部長 令和7年度末で125件あり、一番古い陳情については平成3年の1件、次が平成7年の1件で、ともに道路改良に関わる案件です。

議員 陳情に関わる予算や人員を増やして、早期に対応すべきと考えますが、所見を伺います。

都市政策部長 予算は対応できていますが事業量が増加しており、人員については担当課と相談していきたいと考えます。

議員 令和6年の上中溜池権衛門萩地区の陳情について伺います。

都市政策部長 陳情の内容は、フタのない古い側溝から新しいフタつきの側溝へ延長約400mの敷設替えを求め、畑の土砂が西風の影響で側溝に落ち、耕作関係者が年に何回も浚渫していることを把握しています。

議員 上中溜池権衛門萩地区の

陳情の優先順位と見通しについて、市長に伺います。

市長 陳情の優先順位は全て高いものと認識しており、その中で何を実施すべきか難しいですが、この陳情については地域で浚渫していただいておりますので、畑の土砂流出対策も併せてお願いできれば大変ありがたいと考えています。

■その他の質問

- ・スポーツ施設の再編と公園の整備について
- ・文化財等の管理について

